

School

教育情報 桂川っ子

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149



魅力ある学校づくり

桂川中学校 校長 深見秀人

現在、家庭生活や地域社会の変化に伴い、学校や地域が直面する生徒の諸問題は、多様なものとなっています。その中の一つとして、不登校の問題があります。中学校における不登校生徒は年々増加し、本人の進路や将来の社会的自立にとって、大きな課題となっています。

桂川中学校におきましても、不登校の傾向を示す生徒や不登校の生徒がいます。

そこで、不登校を生まないために、生徒の豊かな人間性や自ら学び、自ら考える力など「生きる力」の育成をねらいとして、「魅力ある学校づくり」を推進します。そして、一人ひとりの生徒を大切にしたい居場所づくり、絆づくりを目指します。

具体的には、生徒が授業や学校行事に主体的に取り組むこと

のできる学校を目指し、授業改善に取り組みます。また、一人ひとりが自信や夢をもって生活することができ学校を目指し、自尊感情の伸長を図ります。さらには、お互いの個性や生き方が尊重され、温かい人間関係の中で、安心して生活することができ学校を目指し、豊かな人間関係の構築を図ります。

なお、本年度は、福岡県学校給食研究指定委嘱事業の授業発表を10月1日(休)に予定しています。この研究発表を活用し、多くの方に指導と助言をいただきながら、生徒の豊かな心身を育み、魅力ある学校づくりに努力を重ねて行きます。

本年度4月1日に着任いたしました中山徹一です。どうぞよろしくお願ひします。

三つ子の魂百まで

桂川幼稚園 園長 中山徹一



▲中山徹一 園長

本年度4月1日に着任いたしました中山徹一です。どうぞよろしくお願ひします。

私は、中学校や小中一貫校の

校長として、また日本学校教育相談学会の認定カウンセラーとして、主に中学生を対象にいじめや不登校などの問題に対処してきました。中学生の問題行動の多くは、幼児期の教育や経験が大きく影響をしています。幼児期や小学校時代ではあまり顕著化しませんが、思春期になって大きく現れることがあります。

三つ子の魂百までと言われるように、幼児教育はとっても大切なことだと思えます。そういう意味で幼稚園教育の大切さを痛感させられています。

本園では、「元気で生き生きと思いやりのある心豊かな幼児の育成」を目標に、桂川町の未来を支えていく元気で明るい子どもたちを育てていきます。

教職員一同、一丸となって幼稚園教育を推進して参りますので、保護者や地域の方々のご協力、ご支援をよろしくお願ひいたします。



人権だより

【問合せ先】桂川町人権センター ☎65・1187

桂川町市民講座 「人権講演会」

桂川町では7月を「桂川町人権・同和問題啓発強調月間」と定めて、毎年、街頭啓発活動や市民講座を実施しています。

今年の市民講座は、7月5日(日)桂川町住民センター大ホールで10時から開演です。講師は、猿まわし師の村崎太郎さん。演題は「橋はかかるゝ差別の無い世の中を目指して」です。

村崎さんは、17歳の時に初代次郎とコンビを結成し、日本に途絶えた猿まわしを復活。次郎の「反省」ポーズで全国的な人気になりました。

今回の講演では、被差別部落出身である自らの経験から、被差別部落について、分け隔てのない社会をつくりたい。「橋をかけた」という熱い想いを語っていただきます。

※今回は講演のみとなっています。

